



議会だより

Shari Town
Assembly

総務文教常任委員会



産業厚生常任委員会



新しい
委員会構成

始まった
議会活動！

議会広報常任委員会



議会運営委員会





6月定例会議

令和5年6月21日～23日

● 6月定例議会では、暫定予算で組まれていた予算を追加する補正予算を始め一般議決議案3件・条例制定改正10件・意見書4件・人事案件3件と一般質問9人16件などの質問及び審議が行われました。

一般会計補正予算

10億371万円

【まち・ひと・しごと創生総合戦略事業】

● U-Jターン移住支援事業

東京圏から町内に移住して就業または起業した者に対し移住支援金を交付します。

220万円

● A-1による地域公共交通実証運行事業

乗合タクシーの実証運行を行います。

450万円

● 市街地鳥獣侵入防止柵

維持管理効率化事業

鳥獣防止柵を安定稼働させるため監視システムを導入します。

148万円

● 地番データ作成事業

町民が簡単に地番調査ができるように地番データを作成しホームページ公開を行います。

2500万円

● 除雪管理システム導入事業

除雪稼働状況を確認できるシステムを導入します。

690万円

【総務】

● 旅先納税推進事業

観光客が利用できる個人版ふるさと納税「旅先納税」を導入します。

1018万円

● 地域防災計画等改訂事業

計画内容及び防災ハザードマップの更新を行います。

846万円

● 防災倉庫整備事業

ゆめホール知床北側に新たな備蓄倉庫を整備します。

1120万円

● 公共施設再生可能エネルギー発電設備導入調査事業

1350万円

● ホ口ベツ園地再整備事業

展望施設や遊歩道の設計等です。

3070万円

● 物価高騰重点支援給付金

物価高騰による家計負担軽減のため、低所得世帯に対し3万円を給付します。

4875万円

【民生】

● 介護従事者・保育士等就業支援等補助事業

町内に新規就業する介護従事者に対し、就業支援補助金等を交付します。

144万円

● 地域共生型交流拠点整備事業

世代を問わず地域住民が気軽に利用できる交流拠点を設置・運営する団体に助成します。

450万円

● 小中高生の医療費無償化事業

8月より所得要件の撤廃と小学生から高校生までの医療費全額を助成します。

1921万円

● 子育て支援センター施設集約化事業

子育て支援センターをぼると21内に移転・集約するとともに双葉保育園保育室を拡充します。

5123万円

【衛生】

● 带状疱疹予防接種事業

50歳以上の町民へ予防接種の助成を行います。

215万円

● 生ごみ電動式処理機

● コンポスト購入費助成事業

生ごみの減量を図るため購入費の一部(1/2)を助成します。 108万円

【農林水産】

● 麦・大豆生産技術向上事業

生産性向上の推進と営農技術等の導入に対し補助金を交付します。

2億8485万円

● 産地生産基盤パワーアップ事業

豆類の作付面積拡大に向け、農業用機械導入に対し、補助金を交付します。

3550万円

【土木】

● 跨線人道橋融雪パネル設置事業

融雪効果が低下した階段部分のロードヒールディングの修繕をします。

580万円

【消防】

● ウトク分署改修工事業

仮眠室の個室化やシャワー室等の施設改修を行います。

1013万円

【教育】

● 知床ウトク学校多目的トイレ改修事業

多目的トイレにオストメイト設備を整備します。

590万円

● 予約管理システム・サイネージシステム更新事業

経年劣化したゆめホール知床の電光案内掲示板を更新します。

1207万円

【病院】

● 医療機器等更新事業

診断用3D画像解析処理システムの更新をします。

1540万円

条例制定・改正

◆ 斜里町職員等の旅費に関する条例の改正

・新規採用者に対しても赴任手当を支給します。

◆ 町職員特殊勤務手当支給に関する条例の改正

・新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類感染症に変更されたことから防疫作業手当を廃止するものです。

◆ こども家庭庁設置法等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

・こども家庭庁設置法の制定されたことに伴い、7つの条例を一括して改正する条例を制定します。

◆ 斜里町乳幼児等医療費助成に関する条例の改正

・中学生までとしていた医療費の助成を高校生までに改めます。

◆ 重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の改正

・所得制限を高校生以下までに改正します。

◆ 斜里町国民健康保険条例の改正

・国の制度改正に基づき、保険料率の改定を行うものです。

◆ 斜里町水道給水条例の改正

◆ 斜里町簡易水道給水条例の改正

◆ 斜里町公共下水道条例の改正

・適格請求書(インボイス)の発行保有に対応する端数処理方法を変更します。

◆ 斜里町病院事業の設置等に関する条例の改正

・診療科目に透析科を追加します。
・薬剤部と技術部を統合し診療技術部とします。



全員協議会



町から町政全般に関わる事項や重要施策について、あらかじめ補足的な説明を受けるために、必要に応じて開催される会議です。令和5年6月定例会議では4件でした。

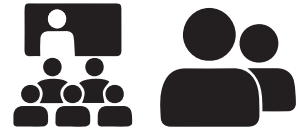
- 第6次斜里町総合計画の総括と次期計画のフレームについて
- エコクリーンセンターの課題への対応状況について
- 斜里町犯罪被害者等支援条例(案)の策定について
- 社会福祉法人の経営状況について

人事案件 選任の同意（敬称略）

- 斜里町副町長 芝尾 賢司
- 固定資産評価審査委員会委員 石川 充
- 斜里町農業委員会委員



芝尾副町長



- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|--------|
| 小池 恭充 | 島田 秀一 | 泉 喜博 | 石井 孝幸 | 波多野 克哉 |
| 東城 智 | 小口 次男 | 舟 窪英幸 | 菱川 正治 | 菅野 裕一 |
| 星 美保子 | 尾崎 知子 | 武正 祐一 | 市村 仁宏 | 中島 徹 |
| 田中 和彦 | | | | |

議決議案

- ウトロ地区公共施設の総合計画の変更
 - ・ホロベツ地区再整備事業の変更 3050万円
- 朝日小学校長寿命化改修工事
 - ・冷暖房設置・外壁／給排水の改修・LED化 3795万円
- 産地生産基盤パワーアップ事業
 - ・豆類の作付面積拡大に向け、農業用機械導入に対して補助金交付 3550万円
- 斜里町特定環境保全公共下水道根幹的施設の建設工事令和5～6年度予算
 - ・ウトロ下水処理場の老朽化に伴う工事 3億600万円

意見書

- 地方財政の充実・強化に関する意見書
 - ・提出者 金盛 典夫
- 2023年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
 - ・提出者 石井 博美
- 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書
 - ・提出者 若木 雅美
- 道教委「これからの高校づくりに関する指針」を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求め意見書
 - ・提出者 若木 雅美

*関係機関に送付しました。

提出者 若木 雅美

町政を問う！ 一般質問 6月定例会議

Uターン促進！奨学金制度の拡充を



録画映像を動画でチェック▶



小暮千秋 議員

問 斜里町では進学を希望されるお子さんに対し無利子の奨学金制度を設けています。更にUターンする方に対しては全ての職種で1/2、保育士、介護士、看護師等の職種では全額が償還免除されます。しかし利用者が増えないのは限度額が低額であり他の奨学金制度を利用するためと考えます。限度額を引き上げる考えは？

町長 現在の限度額は市町村が提供する奨学金としては一般的な額です。「借り過ぎ」のリスクもあるため慎重に考える必要があります。

問 借りる額はご本人、ご家族が判断することだと思えます。他の市町村と横並びでは、将来の斜里町を担う人材の確保につながらないのでは？

町長 他の市町村にひけをとらないような制度設計を検討していきたいと思えます。



問 「ふるさとUターン促進条例」は令和7年度までの期限条例ですが、令和7年度以降も継続すべきではないですか？

町長 町内事業所における人手不足の状況から廃止ではなくむしろ拡充の方向で考えていますが、判断するにはまだ早いタイミングだと思えます。

問 継続するかによって現在中学生の高校選択など進路にも関わりますから、早めに判断すべきでは？

町長 第7次総合計画策定もあり、委員の皆さんの考えも聞きながら制度が効果的に活用されるよう拡充及び継続の検討を進めます。

問 Uターン促進には住環境の整備も必要です。若者、単身者が入居できる単独住宅の整備は考えられませんか？

町長 青年層だけでなく、外国人や季節労働者など幅広い職種で課題となっていることは認識しており、皆さんからアイディアもいただきながら考えてまいります。



久野 聖一 議員

町長公約の「温浴施設！」ゼロカーボンの 有利な補助金などを活用しては？



録画映像を動画でチェック▶



清里町の温浴施設

問 山内町長は、公約の1つに温浴施設の実現に尽力すると述べられておりました。数十億円はかかるこの種の施設には、多額の出費が必要であり、財源対策は重要と考えます。古平町では、建設から95年が経過した役場庁舎の建設をいたしました。この財源にはゼロカーボン政策の有利な補助金を使って建設されました。建設後も電気代の年間970万円の節約など、かなりのメリットがあるという聞いております。過疎債を使うのはもちろんですが、様々な町長のアイデアを取り入れ実現に向かっていくべきと考えますが、まず実現に向けてその基本的な考えなどをお聞きし、財源として有利な補助金を使うことも必要との考えのもと質問をいたしました。

町長 温浴施設の建設に

問 私は3月議会の一般質問の中で、「地域で生き残る教育とは何か」を基本に未来を模索する質問をいたしました。その中で斜里高校の魅力化、そして町内小中学校の学力を向上させる『公設塾』についても見解を伺いました。その時は斜里町としては私の提案とは異なる別の施策をやっていくとの見解でしたが、山内町長は斜里高校の魅力化と公設民営塾の設置を公約に掲げて挙げておりますので、その具体的な内容についてお聞かせ下さい。

町長 高校の魅力化に関

斜里高校の魅力化、 学力向上対策について

ついては、健康促進効果やストレスの解消、社交の場として機能するなど、のメリットがある一方で、源泉や施設建設のコスト、施設運営や維持コスト、利用料金設定、設置場所等の課題を解決していく必要があります。補助金についてもしっかりと検

討していかなければならぬところであります。今年度は『温泉利用型健康増進施設』について情報収集をしながら、町民のニーズ調査や運営体制に関するワークショップなどを行い、進めていきたいと考えております。

しては、地域資源を生かした知床斜里ならではの教育活動を進めることが重要であり、希望の大学に進学できると云う実績作りも欠かせない要素であり、その支援をしていきます。また基礎学力をしっかりと身に付けた生徒が斜里高校に入学できるように『公設民営塾』を開設できないか考えているところですが、そのためには一定の経費がかかることから、自主財源の確保を行うほか、教育委員会とも協議を重ね方向性を判断していきたいと考えています。



議場を開放して公設塾を行う津別町



金盛 典夫 議員

観光船遭難事故対策 (人命救助、再発防止、信頼回復) について



録画映像を動画でチェック▶



ウトロ港の大型観光船乗り場。防波堤を利用した乗降施設で駐車場の仮設トイレも現在は撤去されている。



小型観光船乗り場。駐車場はなく漁業活動と混在。乗降口はガードレールを外した仮設のもの。世界自然遺産知床の来訪客のために安全で安心できる施設整備が望まれる。

問 一点目、遭難者の遺体がクナシリやサハリンにまで漂流した事実から、迅速な人命救助のため国に対し携帯用位置指示無線標識(PLB)装着の義務化を求めることになっていくが、その後について伺います。

一点目、事故の再発防止には観光船事業者による協調運航が不可欠です。協調運航を保障し、利用者との海象情報の共有や通信施設、券売所、待合室、トイレ、駐車場などを備えた「海の駅」の整備は、次期観光振興計画で取り上げることになっていますが、急を要すると思うのでその対応について伺います。

三点目、事故防止及び事故の風化を防ぐために、知床ルールの条例化をすべきと考えますが町長の所見を伺います

町長 一点目については改めて国土交通大臣に要請します。

二点目の「海の駅」のような大きな事業について、関係者の要望を伺っていないので、検討しておりません。また、様々な事情から旧港での観光船ターミナル整備は極めて難しいと考えておりますが関係者のしつかりとした議論と要望があれば検討します。

三点目の安全安心のためのリスク管理ルールについては強制力のない仕

組みが望ましいと考えておりますが、現在進めているアクティビティリス

ク管理体制検討協議会の

結論を待つて判断します。

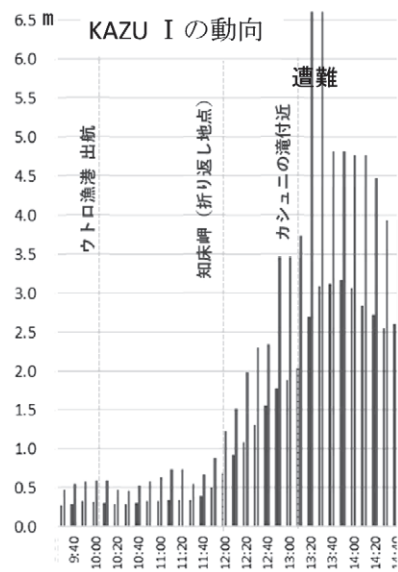
問 コロナ規制解禁後、知床への観光客入込回復の期待は、観光船事故によつて雲散霧消に帰し、現在も知床だけが取り残された状況にあります。

このため観光関係者は著しい経済的苦境に陥っており、早急に対策を講じるべきと考えます。

町独自の施策として固定資産税の減免など緊急支援を行うべきと思いますが町長の考えを伺います。

町長 観光船事故に限ら

観光船事故に係る経済財政対策について

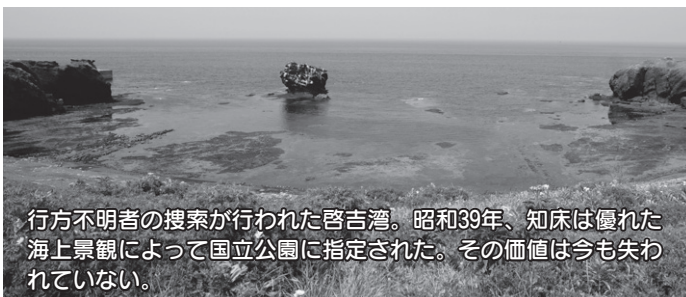


ウトロ碇海象計による波高観測値 (運輸安全委員会報告書より改変)

物価高騰を含めた影響が広範囲に及ぶため新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した支援策について9月定例会で提案できるように検討します。

問 3月議会の予算補正ではおよそ5億円の余剰金が生まれています。支援財源に充てるべきではありませんか。

町長 観光船事故の影響は甚大です。支援の対象から固定資産税減免を排除しないで検討します。



行方不明者の捜索が行われた啓吉湾。昭和39年、知床は優れた海上景観によって国立公園に指定された。その価値は今も失われていない。



渡邊 誠 議員

自主財源確保の方向性について



録画映像を動画でチェック▶

問 自主財源は今後いつまでに、どのくらい増やしていくお考えですか？

町長 宿泊税と言った新たな法定外目的税の導入や、ふるさと納税の寄付金の拡大について取り組むほか、各種使用料についても定期的な見直しを行い、さらなる自主財源の確保に努めてまいります。

問 ふるさと納税の目標イメージは町長自身ありますか？

町長 具体的には（斜里町の）7次総合計画で考えていきます。

問 今後どのような立ち位置で斜里町はふるさと納税に関わっていきますか？

町長 それぞれの事業者の協力が必要。行政だけではやりきることが難しいので事業者の協力を得ながら進めていきたいと思えます。

問 斜里のふるさと納税の返礼品の『斜里原産』というルールは継続しますか？

町長 事業者、関係者のみなさんと相談しながら進めていきます。

問 宿泊税を再検討する際に、再度関係事業者と

の協議を踏まえて進めていただけませんか？

町長 令和2年の『意見交換会』からも時間が経過しているため、素案を練り直し、再度意見を伺う機会を設けたいと考えております。

問 自主財源を確保して優先すべき投資先はどの

ようなものをお考えですか？

町長 将来に繋がる使い道をしつかり考えないといけないと思っております。人材不足、医療介護、子育て支援、国の支援が不足していることに使っていくつもりです。

知床観光の今後の在り方について

問 今後の観光の発展について短期、中期、長期では何が課題でどのように進めていこうと考えていますか？

町長 短期的はコロナ禍や海難事故からの速やかな信頼回復が課題。中期的には老朽化した観光施設の再整備やDMO強化、国際化対応が課題。

問 DMO（観光地域づくり法人）強化で期待する効果と町としての支援内容は？

町長 DMOは観光事業と商業に結びつけていく役割。地域に住んでる観光事業と直接関係ない農業、漁業との関わりを持ちながら、観光に来る人へのおもてなし、楽しんでもらう意識醸成を進めていく必要があると思えます。

問 一社しやりや観光協会の役割を今後どのように整理していくお考えですか？

町長 2つの事業の方向性の整理や役割分担の明確化が困難な状況と捉えています。

まずそれぞれの組織内で議論されるべきと考えおり、その議論を踏まえて支援の内容を判断したいと思っております。

問 観光案内所、自然センター、世界遺産センターの情報発信として棲み分けをどうお考えですか？

町長 行政として何らかの情報の『整理』を考えている状況ではありませんが、今後、顧客目線での

観光におけるトイレ問題について

問 観光船オーロラの駐車場に何らかの方式でもトイレを設置をすべきと考えますがいかがですか？

町長 オロンコ岩駐車場まではトイレを設置しない考えです。

問 観光のイメージ回復に必要な今、再設置しない理由は？

町長 トイレは電気などのインフラ状況もある。オーロラも小型船の導入により利用人数が減った

不具合があれば、観光協会に働きかけていきたいと考えています。ただし、海難事故を踏まえてリスクマネジメントに関する情報発信のあり方は支援や関与をしていきたいと考えています。

問 観光協会の役割が広すぎます。次回の観光振興計画策定の際に誰が何をどのように進めていくか再検討いただけませんか？

町長 観光協会がしっかりと担っていくことが重要と考えますが、今後協議していききたいと思います。

こと、新港への移行への影響、道の駅での事前の利用や情報発信をしているところ。それを総合的に判断して設置していない状況です。

問 羅臼岳の上りのトイレを有料でも良いので定期的に清掃する方法を検討してみたいかができますか？

町長 環境省、北海道に活性化期成会を通じて継続して要望していきたいと思っております。



石井 博美 議員

斜里町の最優先課題福祉政策について



録画映像を動画でチェック▶

問 斜里町においても少子高齢化社会のまっただ中にあり、コロナ禍、物価高騰、看護師・介護士の人材不足が国保病院や各福祉事業所に影響を与えて事業内容の縮小も行われている事業所もありこのままでは介護施設でも倒産の可能性がありま

す。利用者家族の負担も多くなっています。福祉政策がどのように執り行われるのか心配されますが最優先課題と言われています。福祉政策について町長の所見を伺います。

町長 福祉政策の課題の一つは、特に支援が必要な人々の生活を支える事です。町民の不安の解消に向けて支援策を検討していく所存です。人材不足は、地域全体の課題であり、多くの皆さまが連携して、相互に支え合う支援体制を構築する必要があります。斜里町民の福祉向上と幸福の追求を第一に考えて、地域共済社会に持続可能な福祉政策を実現するために、医療と介護を最



優先課題として全力を尽くします。

問 人材不足などによる勤務実態の悪化やストレス、虐待の危険性について町として具体的な対応策は考えていますか。

町長 要因を的確に捉えて適切に対応策を考えていきます。

問 職場環境、人間関係、介護士のケアが必要ではないかと思いますがどのように考えていますか。

町長 職場チームとして研修等でスキルを上げていくことが必要だと思います。全体的に斜里町として対応策を考えます。



木村 耕一郎 議員

新町長の公約の実現性と財政の健全化を問う



録画映像を動画でチェック▶

問 「山内ひろあきは、やります」と書いた選挙用ビラ。の中には、公約の二文字は書かれていませんでしたが公約と捉えていいのですか?

町長 公約ととらえてよいです。

問 公約の事業費の詳細な内容と財源対策も示していただきたいです。

町長 総合的に状況を判断し、公約の優先度を検討した上で、財源と具体化の見通しのたつた事業から順次、説明提案したいと思っています。

問 来年から始まる「斜里町総合計画」と町長の公約の関連について、町長はどのような認識を持っていますか?

町長 策定委員の皆さんの意見を聞き、決めていきたいです。

問 第7次総合計画は各種計画と連携させる方針を強く打ち出しています。今までの総合計画と比較すると、より以上の財源が必要となってくる可能性が想定されます。新総合計画においても、財政計画は必須と思われるのですがいかがですか?

町長 総合計画のなかで、計画の実施計画書を掲載する予定です。

問 今後も議会に、財政の健全化のため中期財政収支試算を示す考えはありますか?

町長 従前同様、より具体的な財政の見通しのために示していきます。

問 中期財政収支試算を基に、令和2年から始まった「アクションプラン」についての認識についてはどうですか?

町長 アクションプランは財政健全化を進めるプランで、歳出削減策、ふるさと納税、の歳入の確保や「過疎指定」を受けたことで、当初懸念された状況は回避されると考えます。

選挙ビラ

町長公約



佐藤 広之 議員

地域公共交通対策／ 町民が利用しやすい公共交通を!



録画映像を動画でチェック▶

「しやりぐる」の 増便を試しては?

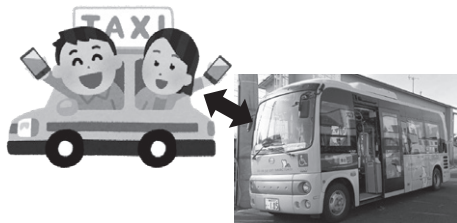
問 今年度A-1を活用した乗合タクシーを導入予定ですが、アンケートでは巡回バスの必要性を約半数の方が必要と答えています。ある自治体では利用者が少ない巡回バスを逆に便を大幅に増やすことにより利用が増え、有名人になりました。①便数が少ない②早い時間で終わる③ウト口との往復が少ないため買い物に行けない等、町民の意見もあるため、乗合タクシー検証後、巡回バス「しやりぐる」を増便する考えはありますか?

町長 「しやりぐる」は、スクールバスの運転手や車両の空き時間を利用した中での運行としてきました。無料日や土日の試行的運行等工夫をしましたが、利用が伸びないためニーズがないと判断しています。定期的な増便はバスの運転手や車両の確保が難しいため対応できないものです。

問 実証運行は本採用になるのに時間がかかりま

す。実行しやすく利用しやすい方法を検討してはいかがでしょうか。

町長 「しやりぐる」は、増便や停留所等を増やす等物理的に難しかったため、今回の方法に至りました。他の自治体の実績を参考にA-1乗合タクシーに期待しています。効果を早く見定め、素早い運用にしたいと思っています。



乗合タクシーと巡回バス
町民の足どう考える!

問 町外の医療機関への「足の確保」をどのように考えていますか?

町長 網走バスが廃止され斜里バスが一部引き継いだため、1便1往復の運行をしています。

問 1日1往復では少ないです。診療科目を複数受けている町民は午後までかかる人も多く帰路の

国保病院の建て替えの検討は?

バス時間に間に合いません。巡回バスが利用しやすいものにしていくことで、外出しようにする機

病院地域医療対策／ 中長期的な斜里町国保病院の在り方とは?

問 国保病院は、新設から長い年月が経過し老朽化が進んでいます。病院建て替え等の検討・計画を、中長期的な視点で考えていますか?

町長 昭和61年に大幅に改築し37年経過していますが、計画に「老朽化の度合いに応じ修繕していくのが基本だが、将来的な改築または大規模改修を検討する」としています。策定中の「第7次総合計画」での議論も踏まえながら、今後検討を進めていきます。

会も増えていきます。町が活性化するものと考えますがいかがですか?

町長 地域公共交通は重

要な課題と認識しています。しっかり検証してより良いものにしてまいります。

問 国保病院は、新設から長い年月が経過し老朽化が進んでいます。病院建て替え等の検討・計画を、中長期的な視点で考えていますか?

町長 昭和61年に大幅に改築し37年経過していますが、計画に「老朽化の度合いに応じ修繕していくのが基本だが、将来的な改築または大規模改修を検討する」としています。策定中の「第7次総合計画」での議論も踏まえながら、今後検討を進めていきます。

問 採用情報をホームページに載せた受け身の体制では人は行動を起こさず移住という気持ちにさせるのは難しいと思つています。町長の強い想いと発信が重要で、イメージ戦略も必要と考えます。たとえばホームページのトップページに「移住者促進」等、前面に打ち出す、また斜里町のファンを増やすために会員を作

る等その準備をしていく計画をしてはいかがですか?

町長 町民の皆さんや行政のみでなく様々な意見を聞きながら、みんなで作っていく。この職場で働いてよかったです。と思ってもらえるようにどのようにコーディネートしていくかも行政の役割と思っています。町外から来た人の意見も聞きながらより良い「まちづくり」をしていきます。





若木 雅美 議員

町長公約の温浴施設の整備は、どのように進める?



録画映像を動画でチェック▶

問 町長は、高齢者を中心に住民要望がある温浴施設の整備について、選挙公約の一つに掲げています。持続可能な施設となるよう、目的や財政などから検討をする必要があると思いますが、この検討においては、スピード感をもって進めることも大切だと考えます。町長は、多様な意見を聞き進めていく考えですが、意見聴取の方法、検討時期(期間)はどのように進める考えですか。

町長 今後、さまざまな機会を通じて町民ニーズ調査やワークショップ等を行い、皆様の声に耳を傾けていきたいと考えています。

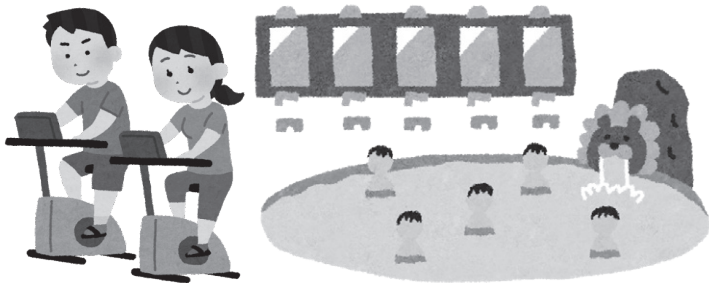
問 検討期間は?

町長 今年度から検討をはじめ、具体的検討に入るまで町民の声を聞いて参ります。また7次総合計画策定委員の声も聞く考えです。

問 実現に向け、庁舎内にプロジェクトチームを設置する考えはありますか。

町長 そういったことも一考かと思えます。

温泉浴の効果を評価し検討を



問 私たちの寿命は延び続け、「人生90年」に手が届こうとしています。長い人生、いつまでも元気に過ごすためには「健康寿命」を伸ばすことが必要です。「温泉利用が健康づくりにもたらす総合的効果についてのエビデンスに関する研究の報告」において、温泉浴の予防効果、伸展抑止効果、改善効果などの調査結果

が示されており、健康寿命に大きく貢献するものと考えます。温浴施設の検討においては、住民の健康を視点で進めるべきと考えます。この点についてどのように考えられていますか。

町長 温浴施設の検討には、当然、今後の町民の健康管理や高齢者を支える体制構築も重要であると考えています。

問 温泉がもたらす健康への効果は重要視すべきことではないでしょうか。

町長 町政執行方針で、温泉利用型健康増進施設と述べさせていただいており、温泉が健康づくりに重要な要素があると承知しています。

問 年間を通して利用出来る「トレーニング施設」の併設を希望する声もあります。町民が、年間を通じて、気軽にひとりでも健康づくりに取り組める環境整備も必要なのではないでしょうか。

町長 そういった場の提供は必要だと考えています。今後検討する時には議論していきたいと思えます。

農村村部携帯電話不感地帯の解消を

問 携帯電話は生活に欠かせないインフラとなつていますが、町内の農村村部(農地)においては、地理的な要因で携帯電話の不感地帯があります。農業作業中の事故や野生動物との接触事故の発生を考えた場合に、不感地帯の解消が急務と考えます。

問 通信事業による敷設整備が採算性の面から難しいことは認識しています。そのため、国の事業を活用し、不感地帯の解消を図り、農業者が安心して作業ができる環境整備を進めるべきと考えます。町長の所見を伺います。

町長 公設民営での整備は、一定の補助制度があるとは言え、整備後も莫大な施設・設備の維持管理費用を要するなど、自治体による整備の負担は非常に大きいものがあります。そのため、不感地帯解消に関しては民設民営での整備を原則として、管内市町村と連携をとって国

に求めてきているところですが。

問 要望に対し国はどのような考えでしたか。

町長 まずは、道路の不感地帯解消を優先する考えです。

問 不感地帯は野生動物の出現が多い地域です。農業者の安全のために、農地の整備についても、平行して要望すべきではないでしょうか。

町長 同じ悩みを持っている市町村と連携し声を上げていく考えです。

また、機器を農業者自らが備えることで安全確保が可能となる方法もあると考えます。





今井 千春 議員

温泉施設の実現に向けて問う!!



録画映像を動画でチェック▶

温泉



町民が望んでいる温浴施設

問 前期に亘り、幾度か同僚議員と共に一般質問をしてきましたが、なかなか発展的な回答が得られなかったのが実情でありました。

町長もご承知と思いますが、今回の地方統一選挙運動期間中に於いても、かなりの町民より、温浴施設を建設して欲しい! 旨の声が非常に多く、町長も「温浴施設の整備」を掲げて戦ってきたと承知しております。

4年間と言いつつ任期は短いです、全町民の「健

康増進」及び「憩いの場」として町民の声を真摯に受け止め、実現して頂きたいと考えますが、町長の所見を伺います。

町長 持続的な運用のため、町外の人も使える多目的な温泉施設が必要である事も考えています。町民がどんな施設がいいか、幅広い世代・多くの町民の声を聞き、プロセスを共有しながら、「温泉利用型健康増進施設」を念頭に置いた検討を始めていきます。

学校給食費無償化の実現へ!

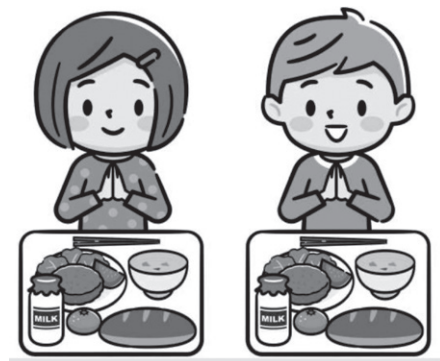
問 近年、全国の他市町村では、盛んに学校給食費の無償化が進んでおり、また新規に無償化を実施するところが増えています。

現在斜里町に於いては食材の物価高に対応し、学校給食費を上げないよう予算経常しているのは承知しております。

しかし大きくは、人口減少に歯止めをする対策の一環として、また移住者に対しても安心で「子育てがしやすい斜里町」を目指す為にも、学校給食費の無償化が必要であると考えますが、町長の所見を伺います。

町長 全国的に学校給食費を無償化する自治体が増えてきていると、認識しています。

道内の状況としては、昨年度40の市町村が小中学校共に、給食費を無償化



学校給食費無償化の実現へ

1ツク管内では、7つの市町村が実施しています。斜里町に於いても、昨年からの食材料費の物価高に対し、高騰分を支援してはいますが、児童生徒分の給食費は、年額5千万円が必要であります。

給食費の無償化に対しては、将来を見通した安定的な財源の確保が必要であるので、多様な方法で自主財源を確保し、政府が打ち出している「異次元の少子化対策」の内容も注視しながら、今後の検討を進めていきます。

議会のお知らせ

次の定例会議は9月の予定です

日程など、詳しくは折り込みチラシでお知らせします。

議長宛の文書は議会事務局へ

議会議長宛の文書や案内状は、議長の公務日程上の調整をする必要がありますので、議会事務局へお届け願います。

委員会活動

斜里町議会では、常設の四つの委員会が、各々の役割を持って活動しています。それぞれの委員会では、どのようなことが行われているのか、その様子や内容をお伝えします。



総務文教常任委員会
(今井千春 委員長)

- 6月14日 (第2回)
 - ・6月定例会議議案説明
 - ・調査活動の重点テーマ打ち合わせ
 - ・道内所管事務調査打ち合わせ
 - ・町内所管事務調査打ち合わせ



- 5月29日 (第2回)
 - ・重点項目について
 - 今期4年間の重点項目について協議し、各産業及び福祉分野での大きな課題である「人手不足への対策」と決定しました。
 - ・道内所管事務調査について
- 6月13日 (第3回)
 - ・6月定例会議議案説明 他



産業厚生常任委員会
(小暮千秋 委員長)

議会運営委員会
(佐々木健佑 委員長)

- 5月31日 (第2回)
 - ・地方自治法等の改正による変更点について
 - ・斜里町議会会議規則について
 - ・6月定例会について

- 6月16日 (第3回)
 - ・6月定例会の議事運営について
 - ・斜里町議会会議規則の一部を改正する規則について
 - ・条例(制定・改正)に係る申入れについて

- 6月22日 (第4回)
 - ・6月定例会議第3日目に係る協議について



- 広報委員会では、本会議が始まる前にページ数の決定を行います。
 - ・一般質問は、質問者本人が決められた文字数内で記事を作成します。
 - ・委員全員で各記事の原稿を担当し、紙面の編集と校正を行います。

- 5月2日 (第1回)
 - ・発行回数等について確認

- 5月16日 (第2回)
 - ・議会だより199号のグラ原稿の校正について

- 6月21日 (第3回)
 - ・議会だより200号のページ割り当てについて

- 6月23日 (第4回)
 - ・議会だより200号記事企画編集会議



議会広報常任委員会
(荒木敏則 委員長)



斜里町の議会は改選期を終え、新たなスタートを切りました！今回の議会においても町長の今後の方向性を問う質問が多数出ました。ぜひ、動画配信もしていますのでご覧ください。この広報委員会は1人でも多くの方に読んでいただけるように、メンバー全員がさまざまな意見を出しながら作成しています。今後もさらに工夫を続けていきますので引き続きよろしくお願ひします。

広報委員会

- ・Facebookで議会の情報を発信中！
- ・ホームページでは、議会インターネット中継、録画配信・会議録、広報も見ることができます。

<http://gikai-sharitown.net/index.html>



Facebook



ホームページ

斜里町議会

で検索



発行：斜里町議会 〒099-4192 斜里町本町12番地 ☎(0152) 26-8392 [直通] 編集：議会広報常任委員会